令和６年度 公益財団法人神奈川県消防協会 業務報告
（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅰ 会　議	1　次の会議を開催し会務の進展を図った	（公１）	
	（１）７地区消防団事務担当者会議		
	・於 シルクセンター		4/22
	（２）理事会		
	・定時　於 シルクセンター		5/9
	（３）評議員会		
	・定時　於 産業貿易センター		5/28
	（４）消防団事務担当者会議		
	・於　神奈川県消防学校		6/21
	（５）正副会長会議		
	・第１回　於 シルクセンター		8/17
	（６）表彰審査委員会	（公２）	
	・於 シルクセンター		8/17
	（７）臨時理事会		10/4
	（８）第２回理事会		2/4
	2　次の会議に出席し、会務を調整した	（公３）	
	（１）日本消防協会役員会議		
	ア　理事会		
	・於（書面会議）		５月
	イ　理事会・評議員会		6/27
	・於 日本消防協会日消ホール		
	飯田(前)会長、武笠(前)副会長及び横川事務局長出席		
	（２）　関東甲信地区消防協会会議（長野県）		
	・於 長野県長野市 ホテルメトロポリタン長野		6/5~6
	野本会長・横川事務局長出席		
	（３）関東甲信地区消防協会事務局長会議（神奈川県）		
	・於 箱根ホテル河鹿荘 箱根町湯本688		12/3~4
	総員１９名（ 事務局長・事務局員３名含）		
	（４）都道府県消防協会事務局長会議		
	・於 日本消防協会日消ホール		2/28
	横川事務局長及び堤消防団担当課長出席		
Ⅱ 表　彰	1　令和６年度神奈川県消防功労者表彰式	（公２）	3/27
	（１）消防団の表彰		
	ア　表彰旗　１団　二宮町消防団		
	イ　竿頭綬　３団　横浜市栄消防団、川崎市川崎消防団、		
	厚木市消防団		
	（２）消防団員の表彰		
	ア　功績章　　２００名		
	イ　勤続章５０年　　１名		
	ウ　勤続章２０年　　５５４名		
	エ　精勤章２０年　　５５４名		
	オ　精勤章１０年　　６７４名		
	カ　精勤章　５年　　５７２名		
	2　第７７回日本消防協会定例表彰式	（公２）	
	・於　日本消防協会		3/7

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
	（1）特別表彰　まとい　該当なし （2）表彰旗　1団　横浜市鶴見消防団 （3）竿頭綬　3団　逗子市消防団、秦野市消防団、 愛川町消防団 （4）功績章　２０人 （5）精績章　４８人 （6）勤続章　２１２人 （7）優良婦人消防隊　1隊　三浦市婦人消防隊 （8）優良婦人消防隊員　本公郷女性消防隊 内藤位江		
Ⅲ 指導研修 ・調査研究	1　神奈川県消防学校において次の研修会を開催した （1）消防団幹部研修（1日研修） ・対象者　副団長以下 ・出席者　５７団中 ５２名 研修内容（午前）：㈱タフジャパン 鎌田氏による講義 1消防団員の体力維持と向上について 2運動と健康管理について 研修内容（午後）：日本消防協会 福祉部長 宮川氏による講義 1消防団員の確保普及活動について 2消防団員の処遇等について （2）消防団副団長研修（1日研修） ・出席者　５７団中　５１名　副団長３１名・分団長２０名 研修内容（午前）：S-KYT指導員 1安全管理と健康管理について 研修内容（午後）：元横浜市消防署長 岸本凌幾氏 2今日の気象状況から起こる災害及び 地域消防団の役割と災害活動について 3消防団員確保のための普及・啓発対策について （3）正副団長研修会（1日研修） ・対象者　正副団長 ・出席者　５７団中　１７２名 ・研修内容　消防団員健康づくりセミナー （4）消防団員指導者講習　10月~11月　＊横浜市18団は別途実施 ・対象者　班長以上（1日講習　計7回） ・講習受講者　３９団中　３０５名 講習内容： 1　安全管理の基本 2　訓練礼式 3　現場指揮要領 ＊消防団員教育資料を活用 （5）消防団員指導員研修（1泊2日研修）＊横浜市18団は別途実施 ・対象者　分団長以上 ・出席者　３９団中　３６名 研修内容： Ⅰ 幹部の心得　現場指揮・安全管理、訓練礼式 Ⅱ 防災対策全般（国民保護を含む）、災害情報・伝達、火災防ぎょ 救助・救命活動、水災活動、住民指導、事例研究 ・横浜市18団99名 横浜市消防訓練センターにて実施 ・横浜市18団76名 横浜市消防訓練センターにて実施	（公1）	6/13 7/5 10/4 10/20 10/27 11/2 11/10 11/16 11/24 11/30 10/11~12 1/19 3/2

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
	（６）消防団員幹部候補研修（１日研修） ・対象者　班長又は団員 ・出席者　５７団中　５４名 ・講師：元日本消防協会福祉部長 小野和夫氏及び （株）タフジャパン 鎌田修広氏 講習内容： １ 消防団への期待と団員確保のための方策 ２ 消防団員の健康管理と向上について		12/4
	（７）消防団幹部地震対策特別講習（１日講習） ・対象者　分団長以下 ・出席者　３９団中５９名 ・講師：神奈川県建設業協会 杉原講師・㈱コヤワタオフィス 講習内容： １ 神奈川県の地震対策と災害対策基本法に基づく活動上の取り組み ２ 火災性状・消火訓練（火災を想定）		12/8
	（８）女性消防団員等研修（１日研修） ・対象者　女性消防団員、婦人消防隊員等の指導者 ・出席者　女性消防団員　42団中４０名 講習内容： １ 更なる飛躍へ、かがやけ女性消防団員　＊グループディスカッション 講師：相模原消防局北消防署署長 水野秀代氏 ２ 訓練礼式、風水害対応訓練等　神消学教官		2/9
	（９）消防団分団長研修（１日研修）＊横浜市18団は別途実施 ・対象者　各団分団長又は副分団長１名 ・出席者　３７団中　３６名 講習内容： １　消防組織制度　今日的視点に立った消防団の機能と役割 ２　現場指揮・安全管理及び図上検討		2/16
	２　第５５回神奈川県消防操法大会の実施 ・出状隊　２７隊　１９３名 ・参加者　３１０名 ・ポンプ車操法の部　　最優秀賞　湯河原町消防団 優秀賞　横須賀市消防団 優秀賞　相模原市消防団 優秀賞　綾瀬市消防団 ・可搬ポンプ操法の部　最優秀賞　横須賀市消防団 優秀賞　横浜市金沢消防団 優秀賞　横浜市鶴見消防団 優秀賞　相模原市消防団		7/27
	３　第３０回全国消防操法大会への参加(開催場所　宮城県総合運動公園) ・出場隊　湯河原町消防団 ７名 ・参加者　３５名 ポンプ車成績　湯河原町消防団（敢闘賞） 総合得点163.00　タイム108.89 都道府県代表の出場隊は、ポンプ車操法24隊、小型ポンプ操法23隊		10/12

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
	3　第２９回全国女性消防団員活性化とちぎ大会への参加 ・於　ライトキューブ宇都宮_ 宇都宮市宮みらい1-20番地 「とち乙女♡から広げよう！未来を担う地域防災の力」 をテーマに開催された大会へ団員を派遣した ・於　情報交流会はライトキューブ宇都宮 ・参加者　女性消防団員３８名　関係各所男性団員等５名 会長・協会事務局４名		9/19~20
	5　総合的防災に係る指導及び講習に関する調査研究消防防火に 関する国際的団体への参加助成消防学術研修会への参加助成		
	（１）日本消防協会が主催する第５１回消防団幹部特別研修 （３泊４日研修　１名） ・参加団員（相模原市消防団 義澤副団長）		1/14~17
	（２）第２４回消防団幹部候補中央研修 男性消防団員の部 （２泊３日、男３名） ・参加団員（鎌倉市消防団 大室尊敬） （平塚市消防団 宗島誠） （大和市消防団 青木弘史）		1/31~2/2
	（３）第２４回消防団幹部候補中央研修 女性消防団員の部 （２泊３日、女２名） ・参加団員（川崎市麻生消防団 山内楓子）		2/14~16
Ⅳ 福祉対策	1　消防団員に対し次の区分により弔慰金・見舞金を贈呈した （１）弔慰救済　(4/1~3/31）２０名 （２）障害及び傷病救慰　　１名 （３）り災救慰　　１名	（他） 期中	
	2　消防慰霊碑管理委員会の行う慰霊祭に補助金を交付するとともに、 同委員会の事業に協力した	（他）	
	（１）神奈川県殉職消防職団員慰霊祭 ・於　神奈川県消防学校　参列者４６7名		10/23

事業項目	実施内容	事業区分	日程(時期)
Ⅳ 防火思想の啓発	火災予防ポスターを配布し、火災予防思想の啓発高揚を図った(10月/２月)	（公３）	期中
Ⅴ 消防力の充実強化	1　消防団員確保のための普及・啓発活動の推進を図る	（公１）	期中
	2　日本消防協会が交付する防災車両等の積極的な配置要請を行った	（公１）	期中
	・消防団防災学習・災害活動車Ⅱ（ワンボックス型）		
	藤沢市消防団に決定した		7/9
	3　青少年消防クラブ及び婦人消防隊の育成強化と普及広報活動を推進した	（公１）	期中
	4　女性消防団員制度導入に伴う普及啓発支援活動の支援を行った	（公３）	期中
	5　消防団活動の助成	（公１）	
	各消防団（支部）に交付金を交付し、活動の充実を図った		7/5
Ⅶ 日本消防協会との協力	1　消防個人年金制度の普及を図った	（他）	期中
	職団員合計954名		
	2　消防団員等福祉共済の普及を図った	（他）	期中
	（１）加入状況　　57団　１協会　11,135名		R7.1/1現在
	（２）福祉共済の取扱		
	3　女性防火クラブ員等福祉共済事業の普及を図った	（他）	期中
	（１）加入状況　　１市　１町　20名		4/1現在
	（２）共済金の取扱		
	4　全日本消防人共済会の行う火災共済の普及を図った	（他）	期中
	（１）加入状況　　７団　１協会　428名		10/1現在
	（２）共済金の取扱		
	5　消防育英会の行う育英事業の普及を図る	（他）	期中
	・奨学金受給者なし		
	6　全国消防殉職者慰霊祭については、新日本消防会館で開催となり、ご遺族代表４名（岩井様、添田様、黒澤様、古田様）、野本会長、事務局長及び企画担当が参列した	（他）	10/3
	7　第２９回全国女性消防団員活性化とちぎ大会に参加し、女性消防団員の育成と活性化を図った(再掲)	（公１）	9/19~20
	8　日本消防協会が主催する第５１回消防団幹部特別研修へ団幹部が参加し、知識技術の向上を図った（再掲）	（公１）	1 /14~17
	9　日本消防協会が主催する第２４回消防団幹部候補中央研修（男性の部）へ消防団員３名が参加し、将来の幹部養成を図った（再掲）	（公１）	2 /5~7
	10　日本消防協会が主催する第２４回消防団幹部候補中央研修（女性の部）へ消防団員２名が出席し、将来の幹部養成を図った（再掲）	（公１）	2 /19~21

事業区分

（公１）県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防防災技術の向上及び消防団等の組織の強化事業

（公２）県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための消防団員の士気の高揚と組織の強化事業

（公３）県民の生命、身体及び財産を火災等から保護すると共に各種災害による被害を軽減するための地域連携の強化事業

（他）その他の事業